

**令和7年度 第1回 富士宮市まち・ひと・しごと創生本部会議
各委員からの意見・質問 まとめ**

(1) 富士宮市デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況についての意見・提案・質問

【教育部長】

進捗率が「-3,400%」などあるが、計算は正しいか（P15、「子どもに力が付く、楽しい英語の授業をしている」という小学校教員の割合など）。

【企画戦略課】

計算ミスがないか再度確認をする。

【都市整備部長】

有識者会議議事録内、企画部長の発言「交通アクセスの整備を進めている。今年度は物資供給用ドローンを使った演習を実施」とあるが、どのような趣旨か。

【企画部長】

孤立集落が出た場合に備えて、ドローンを使った訓練を行ったという趣旨。再度、議事録を確認し修正する。

【保健福祉部長】

保健福祉部関係の KPI（重要業績評価指標）は、再検討が必要であると感じている。虐待の相談件数や保育園定員数など、一概に増えればよいという性質のものばかりでない。

【渡邊副市長】

現在策定中の第6次総合計画では、説明が難しい指標は設定しないなど、今から検討しておく必要がある。

【企画戦略課】

今、各重点取組の KPI について、企画戦略課で検討中。今後各課に案を示すため、各部長においても確認いただきたい。

【企画部長】

第6次総合計画では、それを見ることで、進捗が判断できる指標を設定したい。

【篠原副市長】

備考欄へコメントで補足することも必要か。

【企画部長】

過去には、前年から数値が悪くなった指標や特殊事情により変化した指標には、原因等を記載していた。

【篠原副市長】

福祉部門の数値や製造品出荷額など数値的にミスマッチやばらつきがないように記載してほしい。

【渡邊副市長】

雨水対策の進捗はどうか。

【都市整備部長】

下水道課で今年度計画を策定する。

【渡邊副市長】

資料に、「5次総重点」という欄があるが、第6次総合計画では、すべての重点取組が一致するということによいか。

【企画戦略課】

第6次総合計画内に総合戦略を組み込むため一致する。

【財政部長】

製造品出荷額については、基準の令和元年の数値から伸びる見込みがないのでは。市外から企業が進出してこないと感じる。法人市民税については、コロナ禍から数億の増で回復傾向にある。

【都市整備部長】

製造品出荷額については、工業ビジョンなどいろいろな計画に使用している。市外からの企業の呼び込みを重視してほしい。

【企画部長】

担い手不足の中、少ない労力で稼いでいく時代となっている。自動化工場などもあるがオートメーション化に補助するなど、産業基盤の強化を考えてもらいたい。

【市民部長】

公共交通の分野で、宮バス宮タクの1便当たりの乗車人数をKPIに用いているが、次期計画では、数値の取り方を工夫したいと思う。都市整備部門や福祉部門との連携を含めて検討していきたい。

【環境部長】

温室効果ガス削減量について、Jクレジット制度が始まると状況が変わるので、KPIの設定方法を検討する必要がある。市内事業者が買えば、市域の二酸化炭素削減に効果がある。有識者会議の議事録について、デジタル化についていけないという委員もいる。そのような世代へのフォローについても具体的な表現が必要と思う。

【保健福祉部長】

KPIの数値の取り方を再考すべき。例えば、避難行動のセルフプランを作った人の数など個人の自助に視点をあてたKPIの取り方を研究したい。認知症サポーター数などはすぐに増える。増えたことでどうなったか、が図れる指標にするべき。

【渡邊副市長】

ウェルビーイング指標ばかりになっても心配。

【保健福祉部長】

個別計画では客観指標の数値を把握することが重要。細かな進捗を管理する必要がある。

【企画部長】

次期計画では、客観指標とウェルビーイング指標の双方からの評価が必要。

【こども家庭統括監】

KPIについて、数値が減ると悪く見えてしまう。設定の仕方を慎重に考える必要がある。

【市立病院事務部長】

備考欄の書き方について、どこまで丁寧に記載するか。数値減少の理由や急激な変化など丁寧に描く必要があるか検討してほしい。

【危機管理監】

防災訓練への参加率については、自治会への加入率によっても影響を受ける。人口減少によって、目標に届かない KPI も出てくるのではないかと。

【消防長】

自助、共助、公助を分けて考えることも重要。KPI で区別があればいい。ドローンの活用や、LIVE119 については、次期戦略では外すのか。

【企画戦略課】

現在、次の重点取り組みや KPI を検討中。

【教育部長】

教員の主観による KPI は、教員の入れ替わりなどもあり年によりばらつきがある。

【総務部長】

そもそも総合計画より、戦略的に色をつけてもいいのでは。

【企画部長】

総合戦略は、分野ごとに施策を設定する。総合戦略は、人口減少や地域の賑わいづくりに資する横断的な取組をまとめ、目的を明確化していく。

【篠原副市長】

再度、各課で検討し、数値については研究をしてほしい。

(2) 令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る事業評価及び企業案ふるさと納税についての意見・提案・質問

【都市整備部長】

第 2 世代交付金について、ソフト事業を絡めてハード事業も対象となっており、活用も検討しているが使い方が難しいと感じている。

【渡邊副市長】

新たに事業を作り出すというより、実施計画などで上がってきた事業を組み合わせる方がよいのではないかと。

【篠原副市長】

これから実施計画をまとめていくため、検討してほしい。

【渡邊副市長】

企業版ふるさと納税については前年と比べてどうか。

【企画部長】

令和 5 年は、高額寄付があったため、総額は減ったが、その特殊事情を除けば順調に増えている。

(3) 令和 7 年度新しい地方経済・生活環境創生交付金事業及び企業案ふるさと納税についての意見・提案・質問

特になし

(4) 次期総合戦略（第 6 次総合計画まちづくりの基本方針）についての意見・提案・質問

特になし